

抗議文

米原潜パサデナ入港に抗議する

横須賀は原潜の母港ではない。

パサデナはただちに出ていけ！

米合衆国大統領殿
在日米軍基地司令官殿
米第7艦隊司令官殿
米軍横須賀基地司令官殿

2011年3月3日
原水爆禁止神奈川県協議会
神奈川県労働組合総連合
神奈川県平和委員会
安保廃棄・県統一促進会議
新日本婦人の会神奈川県本部
原水爆禁止横須賀市協議会
新日本婦人の会横須賀支部
原子力空母の横須賀配備阻止
三浦半島連絡会

米軍は2日、ロサンゼルス級攻撃型原子力潜水艦パサデナの入港を強行した。原潜の入港は今年2回目、原子力艦船の入港は通算828回目となるものである。

しかも重大なことは、いま横須賀に原子力空母ジージ・ワシントンがいて、原子炉修理をやっており、そこに原潜がきて軍事用原子炉が3基存在することとなり、放射能事故の危険、放射能汚染の危険がさらに増大していることである。

私たちはこれまで、横須賀基地が米軍が世界で起こしている戦争の出撃拠点に使用されていること、また核持ち込みが公然と行われていることに強く抗議してきた。今回のパサデナ入港もその一環である。

同時に私たちは米国本土でさえ許されない3,000万という超人口密集地首都圏の入り口横須賀で軍事用原子炉の修理を実施し、出た放射能のゴミを搬出するという行為をつづけていることを決して認められない。しかもその現場に原潜を入港させ、原子炉をもう一つ増やすなど、人道上許されないものである。

米政府が日本政府と交わしている外交文書による約束「横須賀で原子炉修理はしない」「放射能のゴミは横須賀では出さない」を破り続け、原潜まで入れてくるというのなら、もはや私たちは、原子力空母の母港の返上と原潜入港中止を迫る他はない。

原潜パサデナはただちに出ていけ！

原子力空母ジージ・ワシントンの原子炉修理をただちに中止し、母港を返上せよ。

以上、抗議する。